



かけはし

110

2026.08

誰でも**マイボトル**
持参で利用できます

- 02 | 特集 追跡 あの一般質問はどうなった?
- 04 | 国民健康保険税63%の世帯が増税
- 06 | 一般質問 町民のおもいを届ける60分





追跡

あの一般質問はどうなった？

議員と町当局の努力が実る

通年議会によって、委員会が活性化し、提案型の質問が多くなった。
また、町当局が質問に真摯に向き合って実現することも多い。

4年間でいった一般質問テーマ														行政運営・財政
環境	福祉	農林	まちづくり	行政改革	交通	教育	防災	税	建設	水道	健康	観光	平和	選挙
18	20	10	21	6	8	26	23	1	12	5	12	4	2	2
														19

議員は住民の願いを実現したいと思っています。
気がついたことがあれば、ご提案ください。

議会だよりキャラクター
「かきかあちゃん」



住民の声でさらにサービス向上を

追跡③

住民が望むドア・ツー・ドアを

議会では、以前から一般質問や常任委員会でも利用しやすいドア・ツー・ドアによる乗り合いタクシーの運行を求めてきた。
【令和5年6月会議】

Q コミュニティバスとデマンド型乗合タクシーは、地域住民の要望を満たしていない。住民が望むドア・ツー・ドアの実施を。

A エリア型のドア・ツー・ドアを考える。

その後

令和7年度にエリア型の実証運行が行われ、令和8年4月から本格運行が開始され、利用者が増加している。

追跡①

熱中症対策公共施設に給水機器の設置を

【令和7年9月会議】

Q 本町の公共施設には給水スポットがない。熱中症対策など、設置も重要な政策では。

A 給水スポットは、まず役場庁舎への設置を進めたい。

その後

令和8年度に、役場庁舎と総合文化会館や一部の公民館に設置された。



利用者に喜ばれている給水機(四邑公民館)

こまめに水分補給を

ろ過された安全なお水なので有難いです。熱中症対策になります。

四邑公民館長
やまもと 山本 容子さん



追跡④

図書館に除菌機の設置を

【令和5年9月会議】

Q 図書館の本や資料を、安心安全に利用する除菌機設置を(令和3年6月会議でも提案)。

A 除菌機を設置することは、利用者の精神的な安心にもつながる。

その後

令和6年2月に、県立紀北工業高等学校から除菌機が寄贈された。



紫外線照射ができる除菌機

10秒で簡単殺菌!

お手間は取らせません。除菌後、安心して読書をお楽しみ下さい。

生涯学習課 副主任
まえだ まさこ 前田 雅子さん



追跡②

西部公園に遊具の設置を

【令和7年3月会議】
議会が熱望してきた大型遊具などの設置が実現に向かう。

Q 遊具の備わった公園を、多くの子育てをしている人々が待ち望んでいる。設置はできないのか。

A 橋本市と九度山町の同意が得られたので早い時期に設置したい。

その後

令和8年度に予算計上され、設置を目指している。



どんな遊具ができるのか楽しみ(道の駅柿の郷くどやま)



賛否が分かれる

討論

国民健康保険税条例
の一部改正

反対
独自に保険税値下げを

東芝 弘明 議員
国保税は高い。基金を全額使って保険税を引き下げた後、18歳までの子どもの均等割をゼロにし、さらに9割軽減と全額免除の条例を作り、この過程で均等割のさらなる軽減も研究すべき。

賛成
持続可能な制度維持を

山下 慎一 議員
加入者が安心して医療を受けることができ、地域医療を支える重要な社会保障制度であるため、将来世代に過度な負担を先送りすることなく、持続可能な国民健康保険制度を維持することを望む。

6月会議採決状況(賛否が分かれた議案は1件)

	件名	議員名 結果	松岡	藤本	東芝	大原	浦中	溝北	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表貝	大山
6月会議	農業委員会委員の任命 13件	11対0で同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	監査委員条例等の一部改正など5件 一般会計補正予算(第1号)など6件 工事請負契約金額変更契約	11対0で可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部改正	10対1で可決	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注)松岡宏行議員は、議長のため採決には加わらない。○は賛成 ×は反対

6月

会議

議案審議

6月会議は、農業委員会委員の任命同意や専決処分、国民健康保険税条例の改正案、各会計の補正予算などを審議し、国民健康保険税条例の改正案以外の議案を全員賛成で可決した。

6月会議 (5/28~6/12)	
専決処分	5件
人事	13件
補正予算	6件
条例	6件
事件議決	1件
諸報告	3件
一般質問	7人

内容

国民健康保険税の税率と均等割、平等割の額が改定された。今年度は基金3000万円を取り崩したが、63%の世帯が増税となった。質疑を通じ、負担増が続く保険税には構造的な課題があること、協会けんぽなどと比較すると年収に対し保険税が高いこと、対策が必要なことなどが浮き彫りとなった。

問 今回の条例改正で増税となる世帯、減税となる世帯数は。

税務課長 増税となる世帯は1514世帯63%、減税となる世帯は661世帯27%、新たに被保険者となる世帯は206世帯。

問 保険税は高すぎると思うが、個人均等割と世帯平等割があるので収入や所得がない人にも保険税がかかる。改善すべきではないか。
町長 保険税の負担が重いことは理解しており、町民からも同様の声を聞いている。保険税を引き下げるべきだという意見に真摯に向き合いながら、どうすれば国保制度が持続可能になるか考えなければならない。国や県に対して、より一層の財政支援の拡充や、制度の改善を求めたい。

国民健康保険税条例の主な改正

税	率	令和7年度 (改正前)	令和8年度 (改正後)
基礎分	所得割	8.06%	7.88%
	均等割	29,000円	30,200円
	平等割	21,200円	21,900円
後期 支援分	所得割	2.67%	2.73%
	均等割	9,800円	10,600円
	平等割	7,200円	7,700円
介護分	所得割	2.34%	2.49%
	均等割	9,700円	11,100円
	平等割	5,100円	5,900円
子ども・ 子育て 支援分	所得割	— %	0.30%
	均等割	— 円	1,122円
	18歳以上 均等割	— 円	69円
	平等割	— 円	766円



国民健康保険税の税率

国民健康保険税が年々増加、町民にとっては大問題！皆で考えよう。

丁ノ町
きたうら ひろこ
北浦 弘子さん

経緯と目的

現在、多くの町村議会が直面している議員のなり手不足。本町議会でも議員定数や報酬の見直しについて検討を進めてきた。議員定数・報酬調査特別委員会では慎重に議論を重ねた結果「定数1人減および「報酬月額5万円引き上げ」の方針をまとめた。

審議会への諮問と答申

検討結果に基づき町長へ申し入れを行い、町長が「かつらぎ町特別職報酬等審議会」に諮問。その結果「報酬月額3万円の引き上げ」との答申を受けた。

検討結果

委員会では、答申結果を重く受け止め、委員間で改めて議論を行った。委員会が目指した報酬額と、答申結果の隔たりが議論になり「現状の議会活動が住民に十分伝わっていない」報

議員定数・報酬は現行維持

報酬引き上げを理解してもらうためには、まずは議会活動をしっかりと知ってもらうべき」などの意見が多く出され、今回は改定を見送り、議員定数・報酬ともに現行のままとなった。

今後の取り組み

今後は、議会活動をよりわかりやすく住民に伝え「信頼される議会」体制を築き、議員定数と報酬について引き続き議論していく。

現行のままで良い

現行の議員報酬は1人24万5000円で良いと思います。

中飯降
まつおか 松岡
みちゆき 路行さん



議会を傍聴して

[60代]

過誤納付について、職員個人の責任というのはどうなんですか？業務全てがそのように判断されるとなると職員の意欲が低下してしまいます。

議会を傍聴して

[60代]

ちょっと油断していると、資料を探すのに時間がかかる時もありましたが、参考資料はわかりやすいと感じました。

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。記事は、質問者が作成したものである。

町民のおもいを届ける60分

中阪町長

2026.8.1 110号 | 06

専用回収ボックスの設置を

【町長】 大変重要な課題の一つである

問 避難所におけるモバイルバッテリー

リチウムイオン電池を、住民にどう周知しているか。今までに発生事故はなかったか。

住環境課長 家庭ごみの分け方・出し方マニュアルにて周知している。膨らみや液漏れが確認されたものは、役場へ持参またはエコライフ紀北への持ち込みをお願いしている。リチウムイオン電池が原因とは特定されていないが、エコライフ紀北で火災事故が発生し、数億円規模の被害となった。



日高町では、役場駐輪場に小型家電回収BOXが設置されている(日高町ホームページより)

問 リチウムイオン電池内蔵製品の回収を、住民にどう周知しているか。今までに発生事故はなかったか。

問 利便性向上と火災リスクの軽減の観点から、リチウムイオン電池内蔵製品の回収を、住民にどう周知しているか。今までに発生事故はなかったか。

や小型電子機器の持ち込みと保管など、運営マニュアルはあるのか。

危機管理課長 避難所運営マニュアルには、防火対策を定めているが、避難者個人の持ち込み機器に関する詳細な管理基準は、今後検討を深める必要がある。

ン電池内蔵製品の専用回収ボックスの設置をお願いしたい。未然防止の観点からも早急な対応が必要と考えるが、町長 専用の回収ボックスを設置することは、大変重要な課題の一つであると理解している。1カ所に集めると発火リスクも増えるため、さまざまな情報を集め、進めたい。

問 指導者の質の向上を目的に、研修体制やルール作りの考えは。

教育総務課長 全ての指導者が共通の認識を持ち、生徒が地域の中で安全に、質の高いスポーツ・文化活動に親しめる環境づくりに向

問 部活動の地域移行を進めるうえで、生徒が主体的に参加できる取り組みを行っているか。

教育総務課長 具体的な推進計画を策定していく上で、アンケートの継続、各中学校の生徒会などを通じて、主体的な参画を促す取り組みをさらに進めたい。

地元企業への協力呼びかけが必要

トッププロモーションを行う

問 企業の力を生かすことが重要である。運動部活動の地域移行を進める中で、地元企業に対し、指導者派遣や支援など地域全体での協力呼びかけが必要だと思ふが。

教育長 関係機関との協力のもと、各企業へ直接訪問するトッププロモーションを行い、地域部活動展開の現状や熱意を伝え、子どもたちを育てる協力体制の構築に努める。

専用回収ボックスの設置を

山下 慎二…………… 7

資料館をふるさと教育の拠点に

藤本 憲一…………… 8

過誤納付はなぜ起きたのか

滝ノ上 万記…………… 9

集落支援員へのスライドは

表具 弘…………… 10

15歳から18歳 歯の健康維持を

東芝 弘明…………… 11

重症化予防で財政・国保負担抑制

大山 希世…………… 12

町長の思う未来のかつらぎ町は

溝北 好一…………… 13



令和8年中に行った一般質問テーマ

まちづくり	環境	各5回
福祉	教育	各4回
行政改革	建設	各2回
税	農林	各1回



各ページの二次元コードを読み取ると、ユーチューブで質問映像を見ることができます。

過誤納付はなぜ起きたのか

【参事】正しい知識を持っていなかった

問 ある福祉事業所がこれまで毎年10年以上、本町と「かつらぎ町障害者移動支援事業」の委託契約を締結してきた。今なおその契約は継続している。その事業所は、役場の担当課の指示により収入印紙を契約書へ貼っている。だが、先日その事業所が、「これまでも毎年契約書に収入印紙を貼ってきたけれども収入印紙は本町に必要なのか」という疑問を持ち、役場の担当課に確認したところ、実は収入印紙を貼る必要がなかったということが判明した。なぜこんなことになったのか。



滝ノ上万記 議員



問 ケアレスミスなどではなくて、そもそも職員が正しい知識を持っていなかったということが言えると思うが。

参事（総務・厚生担当） 議員の指摘どおり。大変申し訳なく思っている。

問 同様の契約を27事業所と交わしているとのことだが、それらに対し本町はどのような補償をするのか。

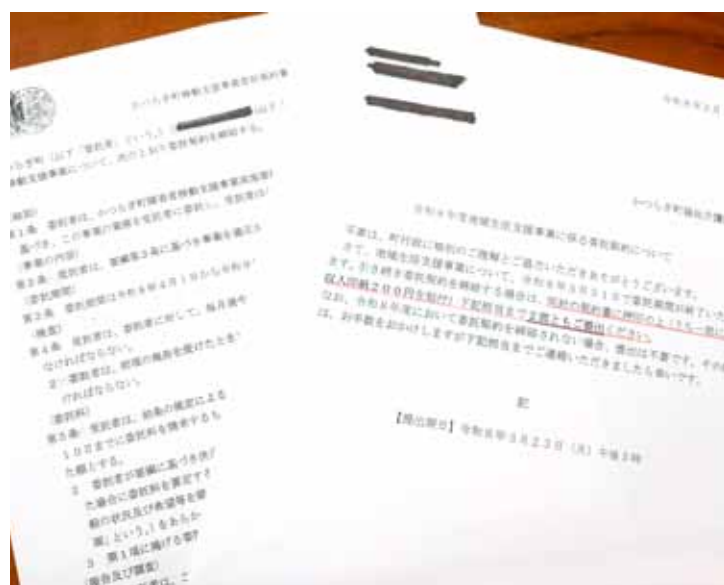
参事（総務・厚生担当） 本町は、当該契約が請負の性質を有するものと解釈しており、契約書への収入印紙貼付が必須であるとの判断のもと、長年事務手続きを行ってきた。指摘があり粉河税務署および国税局に確認をしたところ、当該契約は印紙税法上の課税文書には該当せず、収入印紙の貼付は不要であるとの回答があった。

問 このような税金などの過誤納付の事例について、近年どのようなものがあったのか。

参事（総務・厚生担当） 過誤納付ではないが、令和8年2月に報道発表した、国民健康保険事業に係る高額療養費の合算の算定誤りがあった。

問 本町は自らのミスで事業者に損害を与えたのに、時効のため与えた損害を全て償うことはできない。この場合、本町ができる償いとは。

参事（総務・厚生担当） 事業者が町に対し、国



委託契約の案内には収入印紙を貼付する旨が書かれている

資料館をふるさと教育の拠点に

【町長】歴史学習の場として取り組みたい

問 人口減少時代だからこそ地域を愛する心を育て、地域に誇りを持つ子どもは、将来の地域を支える力になると考える。歴史民俗資料館を地域の歴史資源を活用した「ふるさと教育」の拠点にできないか。

教育長 学校教育との連携を通じて、資料館を活用した体験型の学習プログラムの充実を図り、より深く地域の歴史を理解させることで、子どもたちの地域への愛情と誇りを育んでいきたい。歴史民俗資料館を「ふるさと教育」の拠点として運用していく考えである。



藤本 憲一 議員



問 人口減少で過疎化地域が増えている。それに比べて本町は、子育て世代のUターンが増えつつある。子育て支援策が評価されていると考える。今後さらにUターンが増えるためにも、子どもたちへの「ふるさと教育」が大事だと考えるが。

町長 ふるさとが魅力ある町だというふうに見えるのと、帰りたいくなる。これが人の考えである。この町に誇りが持てるその一つが歴史民俗資料館であり、本町にとって必要な文化施設と考え、歴史学習の場として取り組みたい。



会の始めにラジオ体操をしている丁ノ町あしたば会（いきいきサロン）



町長 健康づくりの中で有意義な一つの手法と思う。今後ラジオ体操をどのように活用できるか、関係課と検討したい。

ラジオ体操を健康づくりに

問 本年8月28日にNHKラジオ体操が本町に巡回される予定である。ラジオ体操は、

子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる健康づくり運動であり、健康寿命の延伸や

15歳から18歳

歯の健康維持を

【町長】治療が進むよう前向きに研究したい



東芝 弘明 議員



問 成人の75%が歯周病に罹患し、高校生年代でも31%が虫歯、24%が歯肉炎を発症している。口内の細菌バランスも影響するため、15歳から18歳に対する歯科健診と治療の徹底は、成人後のメンテナンスの習慣を形成する上でも重要ではないか。

健康保険課長 15歳から18歳までの口腔内フローラが確定するまでの年代に対し、啓発は重要。

町長 高校生はメンテナンスを怠ってしまう恐れがある。しっかりと捉える必要がある。



モモの被害は深刻(兄井地内)

問 対象の受診率は約32%と低い。①歯科医師会との連携②高校非進学者への健診無料化③高校での特別講習④漫画を活用した啓発冊子作成。この4点を提案したい。

健康保険課長 歯科医師会と連携し検討する。非進学者の把握や高校の状況も調査し、対策を講じたい。

町長 18歳まで無料で治療できる期間内にどう進めるか。前向きに研究したい。

被害対策に職員体制の強化を

【副町長】そうするべきかも知れ検討する

でいく姿勢が必要だと理解している。

問 役場の職員は3人体制。他にも事務がある。伐採などの申請相談があると状況を把握するが、耕作放棄地のことは、よく分かっている。職員体制を強化して、毎年被害の状況をリアルに把握するべきでは。

副町長 そういう体制にしなければならぬ。ののかも含め検討したい。

問 対策強化に向け、農業情報有する農協なども交えた「対策協議会」を設置すべき。

参事(建設・産業担当) 対策協議会の設置は重要。協議ができる場を構築したい。

問 町内には1本3万円の委託料の範囲で伐採と伐根、処分まで実施している会社がある。同じ園地でも5000円に対応できる木や2万円経費がかかる木など違いがある。経費がかさむケースもある。被害の状況を全部つかみ、積極的な対応を行うべきではないか。

町長 人的な調査は不可能に近い。荒廃農地または耕作放棄地を把握した上で、園地の中で何が起きているのか。こちらから動き、対策を講じることが重要。農家の承諾を得た上での調査や対策実施を総合的に検討する。

集落支援員へのスライドは

【参事】制度化することは考えていない



表具 弘 議員



問 直近5年の地域おこし協力隊の任期満了者数は4人で、うち3人が町内定住である。任期を全うできず中途退任3人、合計7人で全体の定住率は約43%である。

まちづくり推進課長 採用前のミスマッチと定住などに向けたサポート不足と分析している。過去の中途退任ケースでは着任前に、町・

問 隊員の報酬額を月額22万円に引き上げたことは評価できるが、生活コストを下げる福利厚生およびビジネスサポートが不足しているのではないか。

まちづくり推進課長 生活基盤への支援としては決して低い水準ではない。ビジネスサポートに関しては、本業に支障のない範囲で副業を可能としており、将来へ向けた準備や収入確保ができるようにしている。

問 新規就農者育成事業の進捗は。

農林振興課長 町ホームページにおいて募集を開始。10月1日に着

問 概ね年額440万円と聞いているが、現在の総額は。

まちづくり推進課長 令和8年度から月額報酬を22万円に引き上げ、基本報酬264万円と、家賃補助や活動車両の借上費などを含めた、活動費上限200万円を合わせ概ね464万円である。

問 可処分所得400万円を確保するには、約500万円の農業所得が必要となるが。

農林振興課長 本町の新規就農者の5年目の目標農業所得は320万円。就農初期から当該所得を達成することは極めて困難である。

問 まちづくり推進課として新規就農者制度のようなサポートは。

まちづくり推進課長 隊員の起業に対し、最大100万円まで補助する地域おこし協力隊起業支援補助金を設けている。

問 地域おこし協力隊起業支援補助金は特別交付税が財源。町内在住の3人は活用しているか。

まちづくり推進課長 活用していない。

問 地域おこし協力隊から集落支援員へのスライドは。

参事(建設・産業担当) 総務省の資料において、任期満了後に集落支援員として活動を継続する事例の紹介は承知しているが、スライドを制度化することは考えていない。隊員が自らの力で生活基盤を築き自立してもらいたい。



先進地の取り組みを本町にも活かしてほしい

町長の思う

未来のかつらぎ町は

【町長】 町に誇りが持て 住んで良かった町

問 私議員になった当時からは大きくこの町は変わってきた。あらゆることの進歩が激しい時代にあつて、元気な町・住んで良かったと思える力強い町に変わりつつある。変化のスピードが速い中で、どのように考え行動してきたか。

町長 コロナ禍をはじめ、人口減少・少子高齢化・地域経済の変化など取り巻く環境は大きく変化している。さまざまな検証の上で事業を進める事は大切だが、この時代では先ず第一歩を踏み出し、実践しながら改善を重ねることが重要である。



溝北 好一 議員



問 広い視野で物事を考え、要点や本質を見抜き、細かなところに目を配り実践することが大切。

町長 人口減少による公共施設の適正化など、厳しい判断を求められることも増すが、夢や希望まで縮小してはならない。一人一人の暮らしの質を高め、幸福度を高めることが大切。子どもから高齢者まで安心して暮らせ、誰もが地域の中で役割を持ち「居場所と出番」を持てる。そして、町の将来に「夢や希望」が持て、町に誇りが持てることが行政の役割。本町では子育て支援政策や移住・定住政策に力を注ぎ、直近6年間で0歳から14歳の子どもの転入超過が100人を超え、Uターンが多い結果が出ている。



中阪町政の羅針盤

問 町長は在職7年、若く行動力も抜群。更なる頑張りで、「未来のかつらぎ町」はどんな町でありたいか。

町長 私が目指すのは、人口の多い町でも大企業が集まる町でもない。子どもたちが将来住み続けたいと思う町。一度外へ出た若者が戻ってきたと思う町。高齢者が安心して暮らし続けられる町である。町民一人一人が、「この町に住んで良か

った」「この町に誇りを持つている」と言える町でありたい。これからは子育て支援、教育環境の充実、産業振興、交通対策、防災対策、そして地域活性化に取り組みながら「選ばれる町」「戻ってきたい町」そして「住みたい町」を目指していく。私は、改革のための改革をしたいとは思わない。しかし、変わらなければ守れないものがある。住民サ

ービスも、地域コミュニティも、子どもたちの未来も、現状維持では守れない時代である。変えるべきものは勇気を持って変え、守るべきものはしっかり守る。それが私の町政運営の基本姿勢だ。

＊他に「紀の川フルーツラインのごみ処理」「北部連絡道の道路整備と路上樹木枝の伐採」について質問を行った。

重症化予防で

財政・国保負担抑制

【町長】 他の自治体に先駆けた取り組みも必要

問 社会保険よりも圧倒的に守られていない国保被保険者を守る最後の砦が町の取り組みである。早期段階アプローチに力を入れるべき。特定健診結果データをもとに予備軍になる前段階の被保険者を抽出し、町内医院へ業務委託という形で関わり、長期的に住民の健康を守るために町が適切に医療機関につなげる仕組みを求めたい。

町内小中学校で県立和医大と連携継続している「※子どもココモ



大山 希世 議員



に、令和6年度から健康保険努力支援交付金を活用し、医療機関に機器による計測と健康管理を委託した。この事業は、糖尿病予備軍の人に対し、グルコース値、ヘモグロビンA1c、空腹時血糖値を把握するもので、計測は行事中、運動中、睡眠中、食前・食中・食

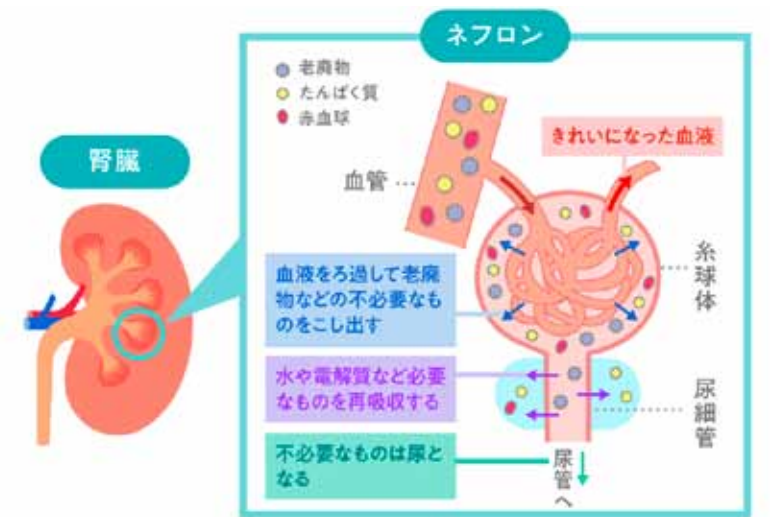
問 徳島県石井町は約人口2万4500人。この町では、特定健診を受けた住民の中から糖尿病や腎不全の予備軍である対象者の約9割を地域の医療機関へ繋いでいる。また、治療を継続する成果を上げつつ、他の疾病リフトのある住民も地域の医院に繋げた。さらに、令和6年度から健康保険努力支援交付金を活用し、医療機関に機器による計測と健康管理を委託した。この事業は、糖尿病予備軍の人に対し、グルコース値、ヘモグロビンA1c、空腹時血糖値を把握するもので、計測は行事中、運動中、睡眠中、食前・食中・食

後などに及ぶ。医療機関は、この数値に基づき健康管理を実施している。

このような先進事例を踏まえ、本町の農業を支える人々、地域経済を回す個人事業主の健康な人生と、本町の財政を守るため重症化を防ぐ取り組みを始めよう。

町長 全国的に国保の負担が大きくなっている。医療費の増加も顕著。提案があった導入も含め、どこまでできるかを考えなければならぬ。他自治体に先駆けた取り組みも必要と考える。前向きに捉え検討する。

※子どもココモ調査とは
新型コロナウイルスの流行による運動機会の減少が、子どもの体力低下を引き起こす懸念から始まった調査。対策が講じられ成果が上がっている。



腎不全・透析とならないために～高血糖が及ぼす腎障害～
(逗子金沢内科クリニックホームページより)

測定方法

測定器 (Reader)

センサーにかざすだけ

スマートフォン

6m以内で持つだけ

24時間腕に貼るだけでスマートフォンに自動で血糖変動を可視化する医療機器

総務産業常任委員会

課題に取り組んだ2年間

5月は「地域おこし協力隊」について、所管課より説明を受けた。今年度本町は隊員の報酬を月額20万円から22万円に増額した。

委員からは、兵庫県新温泉町の視察研修での取り組みとの比較を中心に質疑が行われた。

6月は改選前最後の委員会として2年間の総括を行った。委

員からは、過去に議会が採択した請願・陳情のその後の経過について、約半年掛けて整理したことが評価できる。所管が多いのでテーマを絞って深く掘り下げよう。などの意見が出された。多くの傍聴にも恵まれて幸せな2年間だった。



制度フル活用中の兵庫県新温泉町



住民の声を委員会に、委員会から行政へ届けます。

委員長 表具 弘

厚生文教常任委員会

議論は決して無駄ではない

改選前最後の委員会では、「かつらぎ町新型インフルエンザ等対策行動計画」の説明を受けた。以前の町行動計画から、新型コロナウイルスの対策や対応で得られたことを反映し、感染症危機に備える新たな計画であった。

この2年間議論を深めてきた「本町におけるごみ処理」に関して、視察研修報告も含め総

括を行った。先進自治体への視察を数回行い、本町と照らし合わせた上で政策提言を目標にしてきたが、達成することはできなかった。だが、これまでの議論は決して無駄ではない。今後の委員会でもしっかり議論ができるよう引き継ぎたい。



細分化されたごみの徹底分別を行っている
(徳島県上勝町)



目標であった政策提言ができなかったことは残念である。

委員長 山下 慎二

議会運営委員会

努力は始まったばかり

議会議員政治倫理条例案と議会ハラスメント防止条例案の委員会審議を一通り終えることができた。今後は、議会基本条例に基づき、町当局との確認協議が残っている。改選に伴い、議会の構成が変わるので、今までの努力をきちんと引き継ぐことが求められる。それは課題でもあるが、より良い議会をつくる取り組みになる。そう考えると楽しい。

議会基本条例と関連する条例改正、通年議会の検証も含め、4年間積み重ねたことのいくつかが実った。これらは、建物の土台部分、条例制定の努力が生きるかどうかは、これからの議員の活動にかかっている。努力は始まったばかりだと思う。



ハラスメントを防止するルール作りは大切



集団の力で条例を作れたのは心底良かった。

委員長 東芝 弘明

デジタル化推進特別委員会

改選後も引き続き取り組む

執行部のデジタル化・ペーパーレス化の進捗と、今後の計画の説明を求めた。住民サービスでは電子申請化が進んでいる。業務効率化を目指す中でペーパーレス化を進めるため、年間予算を組んで機器の入れ替えを計画しているが、物価高騰の影響を受けている。このことを含めて、議会はどのように進めてい

くのか、橋本市議会の導入事例などを参考に議論した。予算要求するにも、まずはデモ体験し、どのようなスペックの機器を求めるのかをイメージすることが先決である。意見がまとまり、改選後の議会に託すことになった。



実際に体験すると、思っていたよりも使いやすかった
(橋本市議会にて)



橋本市議会の取り組みは大変参考になりました。

委員長 大山 希世



議会を 傍聴して

新規職員 議会傍聴研修

新規採用の職員17人が6月12日の本会議を傍聴した感想を掲載する。

岩鶴 未優
いわたる みゆう

質疑に対する的確に答弁する町長らの姿に圧倒された。町職員として求められる知識と責任の重さを感じた。

西 純矢
にし じゅんや

予算や条例の議論や審議など、どのように議会で議決されているか議場の雰囲気を通して理解できました。

亀田 寛貴
かめだ ひろき

議会を傍聴し、条例や議案審議を通じて、議論の重みを肌で感じ、公務員としての自覚を新たにしました。

深野 祐樹
ふかの ゆうき

議会傍聴を通じ、行政運営への責任と緊張感を肌で感じました。町民の視点を常に意識し、業務に取り組み重要性を学びました。

谷口 翔太
たにぐち しょうた

画面越しでは伝わらない議場内の緊張感と議論されている方々の熱意を肌で感じる事ができました。経験になりました。

大原 史裕
おおはら ふみひろ

議員の質問に即座に答弁する課長の姿に感銘を受け、幅広い視野や業務に対する知識の重要性を痛感しました。

西浦 諒
にしうら りょう

間近で見える議会は、とても迫力がありました。行政と議会の役割を改めて認識する良い機会となりました。

北山 大輔
きたやま だいすけ

行政に対してさまざまな角度から迫力のある議論が交わされており、町に対する熱い思いを感じる事ができました。

松尾 真由美
まつお まゆみ

議会で活発に議論が行われることで、町の事業が適切に運営・実施されていることを改めて認識しました。

光永 茉白
みつなが ましろ

真剣な質疑、議論から、このように町民のための条例制定や予算運用などが決定されるのだと感銘を受けました。

藤原 愛菜
ふじわら あいな

答弁のスピード感や緊張感のある雰囲気には驚きました。より一層知識を深めていきたいと思いました。

木村 恵里
きむら えり

質問と答弁の全内容が理解できなかったため、これからより一層身を引き締めて、知識も増やしたいです。

森本 圭祐
もりもと けいすけ

よりよい町づくりに向けた議論の重みを実感。責任感を持つて、日々の業務に取り組み思いを強めました。

平田 翔太
ひらた しょうた

議会を傍聴し、緊張感ある中、質疑や答弁している姿に圧倒されました。議会を知る良い機会になりました。

森 咲太
もり そうた

真剣に議論する姿を見、知識不足で全ては理解でませんでした。全員の町を想う気持ちが伝わりました。

井本 祐里
いもと ゆり

議会を初めて傍聴し、町の課題や住民の声について真剣に議論されていることを学び、大変貴重な経験となりました。

野口 皓生
のぐち こうせい

議員の方々が町や町民の生活を親身に考え質問しているところを見て、今後より良い町を目指し業務に励んでいこうと感じました。

政務活動費は 12人中 8人が活用

政務活動費とは、議員が調査研究などの活動を行うために経費の一部として交付される。

！ かきかあちゃんの用語解説

- ※調査研究費
調査研究および調査委託に要する経費や視察研修費など
- ※資料作成費
資料を作成するために要する経費やパソコン、プリンター購入費など
- ※資料購入費
図書、資料などの購入、利用などに要する費用など



令和7年度政務活動費収支一覧

(単位：円)

議員名	交付額	経費の内訳						
		合計	※調査研究費	研修費	広報・広聴費	※資料作成費	※資料購入費	事務費
松岡宏行	180,000	266,406			266,406			
東芝弘明	4,220	4,220					4,220	
大原清明	57,600	57,600					57,600	
溝北好一	89,402	89,402				8,450	80,952	
滝ノ上万記	100,246	100,246		11,000		34,477	54,769	
山下慎二	49,768	49,768		49,768				
表具 弘	117,730	117,730				53,500		64,230
大山希世	52,486	52,486	41,524				2,270	8,692
合計	651,452	737,858	41,524	60,768	266,406	96,427	199,811	72,922

- ・交付額は、議員1人当たり月額1万5000円を基礎とした年間上限18万円。
- ・一覧に氏名のない議員は交付を受けていない。



任期満了に伴う記念写真(総合文化会館大ホール)

退任のあいさつ

このたび、町議会議員を退任することとなりました。

在任中は「住みやすく、より良いまちづくり」を目指し、町政発展のため全力を尽くしてまいりました。皆様から賜りました多大なるご支援に、心より深く感謝申し上げます。

今後は一町民として地域に貢献してまいる所存です。本当にありがとうございました。



浦中 隆男



大原 清明



中谷 雅美



溝北 好一

(編集締切時点までに退任を表明した議員)

表彰

議員11年
表彰状贈呈

和歌山県町村議会議長会定期総会において、松岡宏行議員、藤本憲一議員、溝北好一議員が議員在職11年以上の地方自治功労者として、和歌山県町村議会議長会から表彰されました。



溝北好一 議員



藤本憲一 議員



松岡宏行 議員

令和8年度議会モニターの紹介(敬称略)

氏名	推薦団体など
かど だい 大貴	公募
じょう たくひこ 貴彦	公募
みやもと かずまさ 和昌	公募
みやもと な こ 菜々子	公募
ふくもと むねじ 宗治	町商工会
まつおか まゆみ 真弓	町青年団体連絡協議会
ふじもと ひとみ 藤本ひとみ	町女性会議
にし ひろき 宏紀	町老人クラブ連合会
やまもと としかず 敏一	町身体障害者会
まつやま てつや 哲也	佐野こども園保護者会
いけだ ゆうじ 裕司	三谷こども園保護者会
ひらおか たかひろ 孝啓	町PTA連合会
ふじもと かずお 藤本賀津雄	町民生児童委員協議会



議会だより編集特別委員会 編集後記

編集は
今も発展途上

この4年間で全国町村議会議長会の議会広報全国コンクールにおいて8位(97号)、5位(102号)、2位(105号)と3回入選し、喜びと励みになりました。また、入選以降有名になり、全国から視察が増えました。

編集委員会は、絶えず学ぶことを重ねてきましたが、中には手痛

い失敗もあり、編集に対し強く批判されたこともありました。失敗は簡単に克服できません。でも私たちは、そこから深く学びたいと思っています。

議会だよりの編集は今も発展途上にあります。楽しい紙面作りのために皆様のご意見をぜひお寄せください。これからもよろしく願います。

委員長 東芝 弘明

委員長 東芝 弘明
副委員長 大山 希世
委員 大原 清明
委員 浦中 隆男
委員 中谷 雅美
委員 山下 慎二
委員 澤田 靖子
事務局副主査 西浦 諒



どの号も思いを込めて作りました



がんばる人紹介

NEXT GENERATION



これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。
学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。

質問事項

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 今、頑張っていること | 3 将来の夢 |
| 2 始めたきっかけ | 4 かつらぎ町の好きなところ |



KITAURA KASUMI



【渋田小学校6年生】
きたうら かすみ
北浦 花純さん

- 1 空手の試合で入賞できるよう頑張っています。
- 2 強くなって、自信をつけるためです。
- 3 人の役に立てることをしたいです。
- 4 年齢関係なく、みんな仲が良いところです。



【妙寺小学校6年生】
おおばし ねね
大林 寧音さん

- 1 水泳を頑張っています。
- 2 家族に勧められてはじめました。
- 3 オリンピックに出場することです。
- 4 自然が豊かで人が優しいところです。



OBOYASHI NENE



【笠田中学校3年生】
たむら まお
田村 真生さん

- 1 バレーボールと生徒会書記です。
- 2 何か新しいことに挑戦したかったからです。
- 3 人を助けられる管理栄養士になりたいです。
- 4 自然豊かで、優しい人が多いところです。



TAMURA MAO

